

令和3年度支部保険者機能強化予算(案)について

1. 支部保険者機能強化予算について
2. 令和3年度 支部保険者機能強化予算策定のスケジュール
3. 令和3年度 支部保険者機能強化予算の策定にあたって
4. 令和3年度 支部保険者機能強化予算(案) (東京支部)

1. 支部保険者機能強化予算について

支部保険者機能強化予算とは

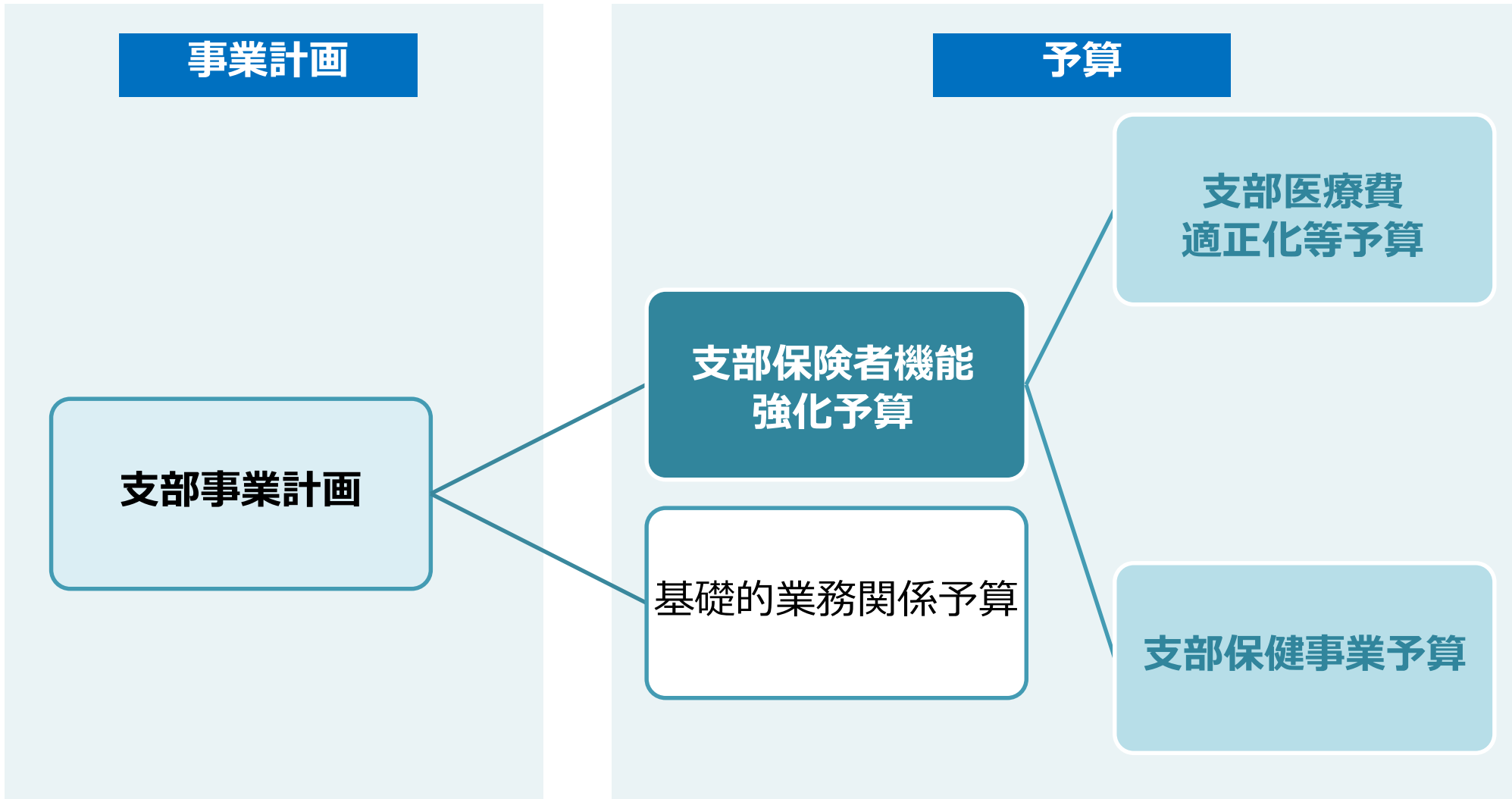
支部保険者機能強化予算とは

中長期的な財政運営という観点も踏まえて、協会けんぽの将来的な医療費の削減につなげていくことを目的に**医療費適正化や健康づくり等の保険者機能を強化する取り組み**を実施する場合に計上する経費のこと。

令和元年度からの予算体系

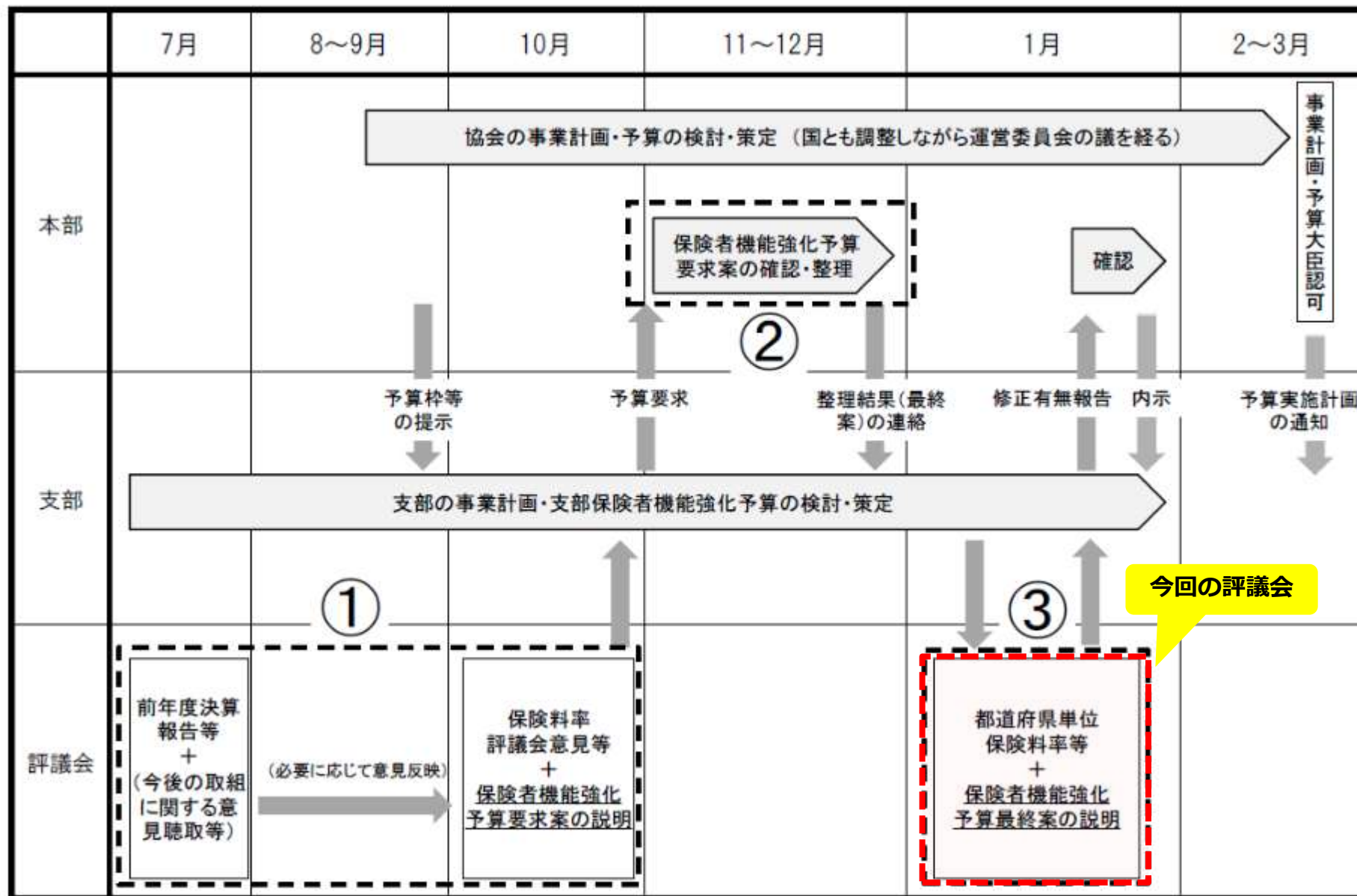


支部保険者機能強化予算の位置づけ（イメージ）



2. 令和3年度 支部保険者機能強化予算 策定のスケジュール

東京支部評議会と支部保険者機能強化予算の関係（今後の協議予定）



3. 令和3年度支部保険者機能強化予算の 策定にあたって

課題①:増加し続ける医療費

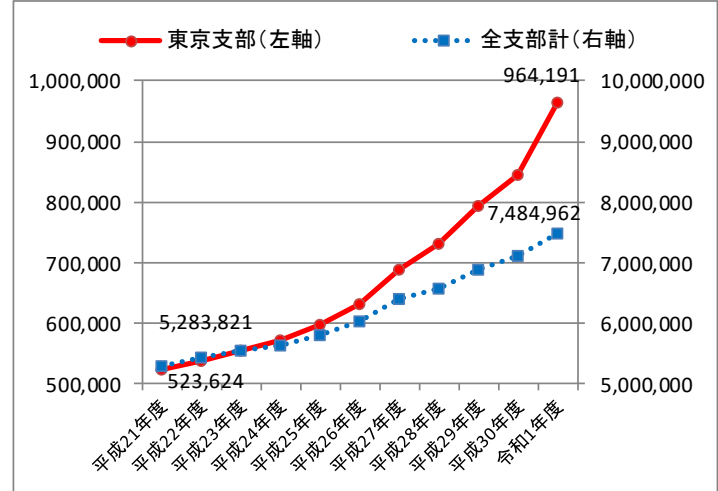
○ 医療費は増加の一途をたどっている。

協会けんぽ加入者の医療費の推移

医療費総額(百万円) ※医療費には療養費なども含む。

	全支部計					東京支部				
	前年度との差	H21年度との差	前年比伸び率	H21比伸び率	前年度との差	H21年度との差	前年比伸び率	H21比伸び率		
平成21年度	5,283,821	---	---	---	523,624	---	---	---		
平成22年度	5,451,467	167,647	167,647	3.2%	539,123	15,499	15,499	3.0%		
平成23年度	5,561,450	109,983	277,630	2.0%	554,100	14,976	30,476	2.8%		
平成24年度	5,647,624	86,174	363,803	1.5%	572,577	18,477	48,953	3.3%		
平成25年度	5,807,801	160,177	523,980	2.8%	598,274	25,697	74,650	4.5%		
平成26年度	6,022,969	215,168	739,148	3.7%	631,271	32,997	107,647	5.5%		
平成27年度	6,414,628	391,658	1,130,807	6.5%	688,508	57,237	164,884	9.1%		
平成28年度	6,567,166	152,539	1,283,345	2.4%	730,154	41,646	206,530	6.0%		
平成29年度	6,896,311	329,145	1,612,490	5.0%	793,334	63,180	269,710	8.7%		
平成30年度	7,104,680	208,369	1,820,859	3.0%	845,644	52,310	322,020	6.6%		
令和1年度	7,484,962	380,282	2,201,141	5.4%	964,191	118,547	440,567	14.0%		

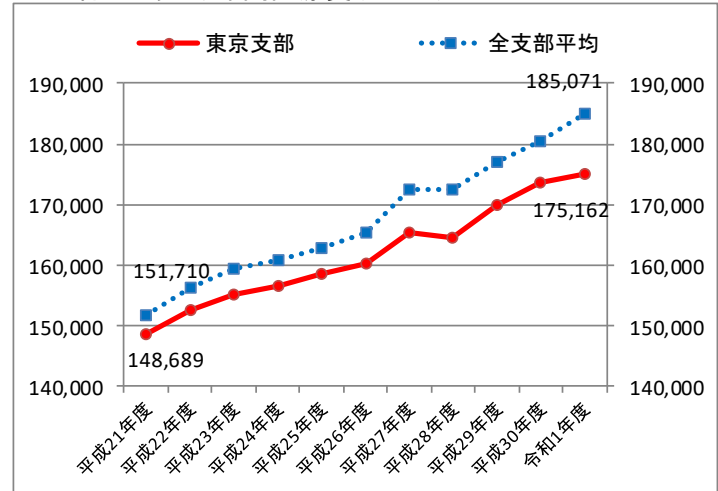
医療費総額(百万円)



加入者1人あたり年間医療費(円/人) ※分母は年度末の加入者数。

	全支部平均				東京支部			
	前年度との差	H21年度との差	前年比伸び率	H21比伸び率	前年度との差	H21年度との差	前年比伸び率	H21比伸び率
平成21年度	151,710	---	---	---	148,689	---	---	---
平成22年度	156,448	4,738	4,738	3.1%	152,533	3,844	3,844	2.6%
平成23年度	159,460	3,012	7,750	1.9%	155,085	2,552	6,396	1.7%
平成24年度	160,885	1,426	9,176	0.9%	156,559	1,474	7,870	1.0%
平成25年度	162,942	2,057	11,232	1.3%	158,662	2,103	9,973	1.3%
平成26年度	165,500	2,558	13,791	1.6%	160,156	1,494	11,467	0.9%
平成27年度	172,599	7,098	20,889	4.3%	165,292	5,136	16,603	3.2%
平成28年度	172,497	▲102	20,787	-0.1%	164,629	▲663	15,940	-0.4%
平成29年度	177,148	4,651	25,438	2.7%	169,986	5,356	21,297	3.3%
平成30年度	180,320	3,172	28,611	1.8%	173,730	3,745	25,042	2.2%
令和1年度	185,071	4,751	33,362	2.6%	175,162	1,431	26,473	0.8%

加入者1人あたり年間医療費(円/人)

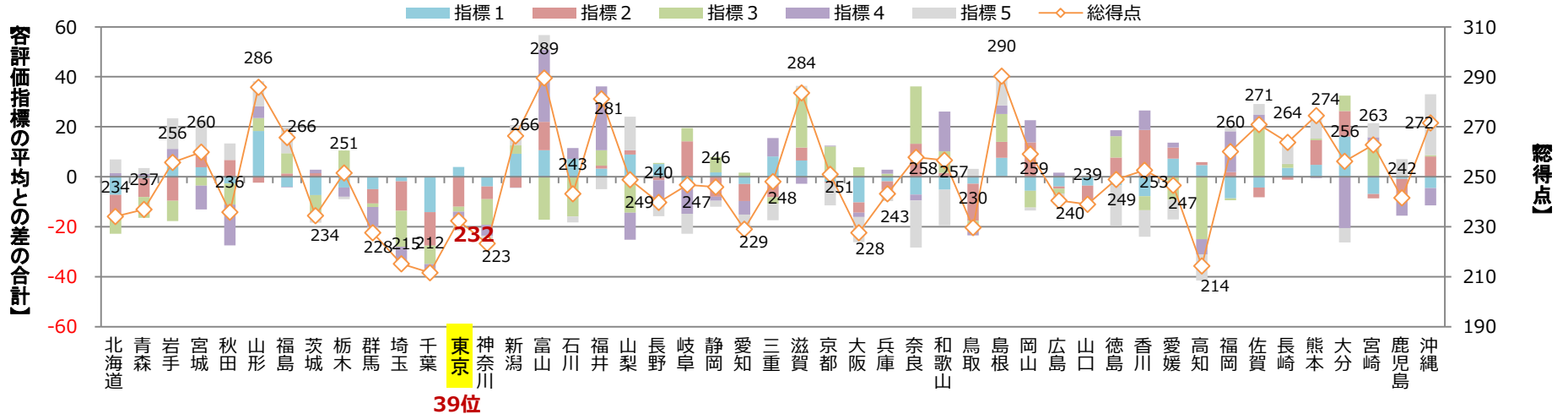


課題②：インセンティブ制度

○ 保険料率のインセンティブ評価指標の総得点が上位過半数ではないため、インセンティブを受けられない。

令和元年度（4月～3月確定値）のデータを用いた実績

5つの評価指標の総得点及び各評価指標の全国平均との差



【東京支部の令和元年度実績（確定値）】

① 特定健診等受診率	15位 (33位)	④ 医療機関への受診勧奨を受けた要治療者の医療機関受診率	35位 (19位)
② 特定保健指導実施率	45位 (47位)	⑤ 後発医薬品使用割合	28位 (35位)
③ 特定保健指導対象者の減少率	28位 (24位)	総得点	39位 (44位)

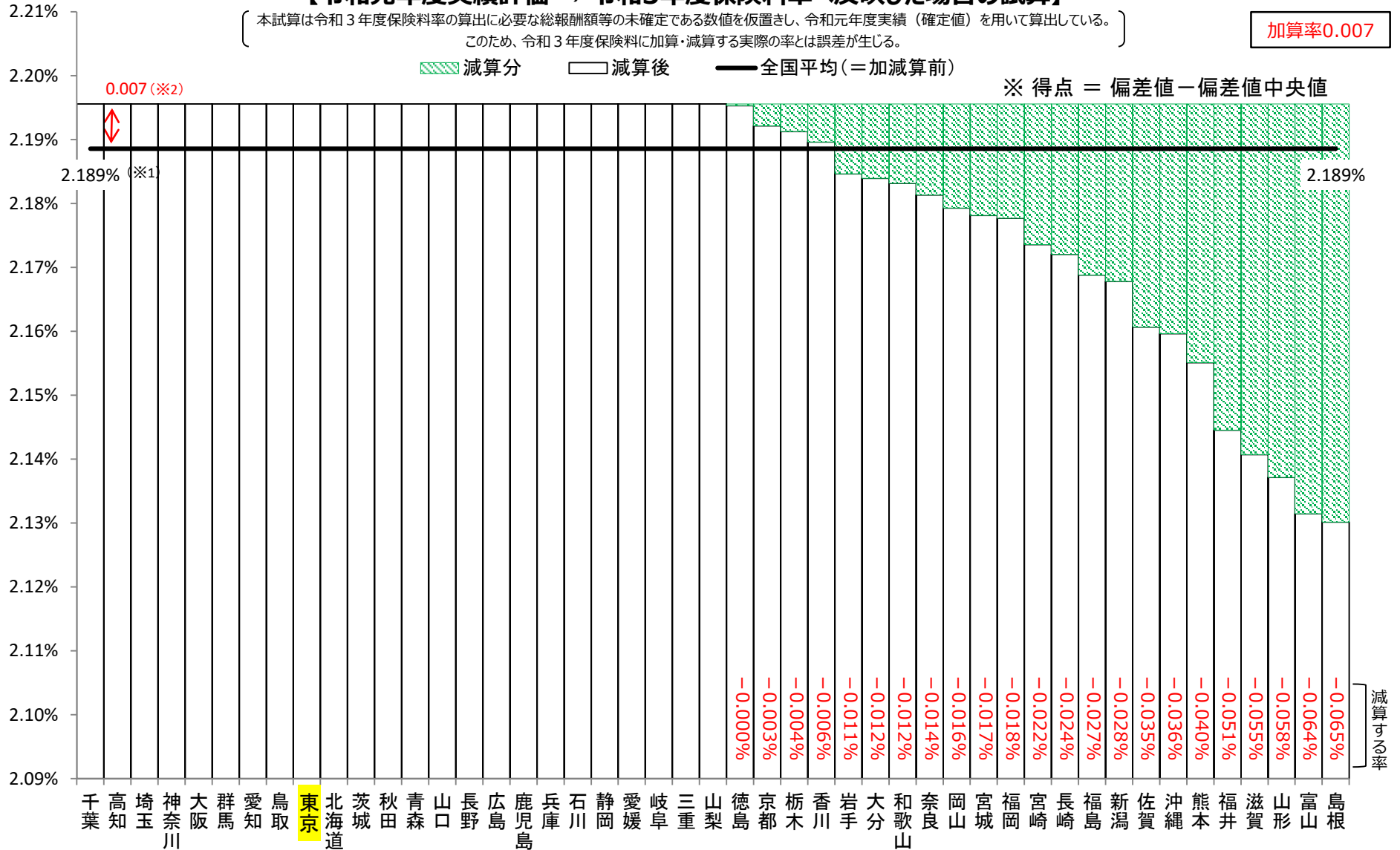
※ () 内は平成30年度データを用いた順位

令和元年度実績（4月～3月確定値）のデータを用いた試算

【令和元年度実績評価 ⇒ 令和3年度保険料率へ反映した場合の試算】

本試算は令和3年度保険料率の算出に必要な総報酬額等の未確定である数値を仮置きし、令和元年度実績（確定値）を用いて算出している。
 このため、令和3年度保険料に加算・減算する実際の率とは誤差が生じる。

加算率0.007



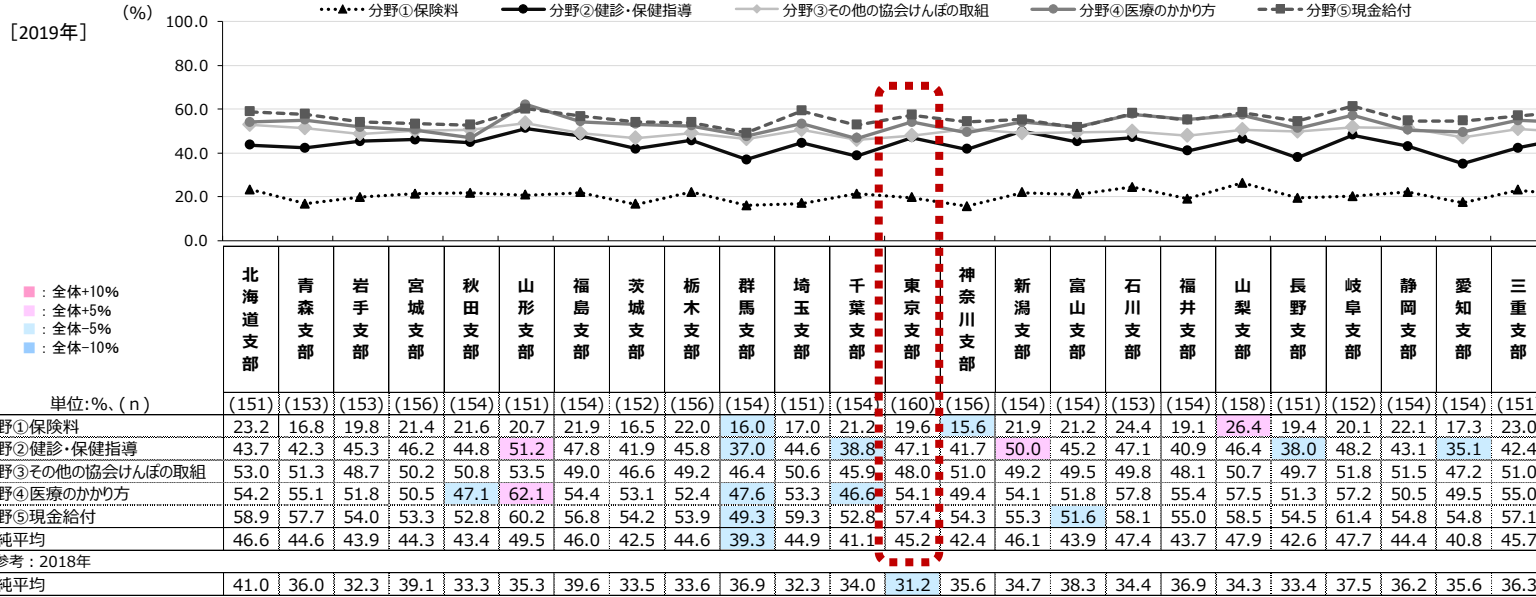
39位

※1 2.189%とは、令和元年度決算における総報酬額及び後期高齢者支援金の額を基に仮に算出した後期高齢者支援金の料率である。

※2 令和3年度保険料率に盛り込むインセンティブ分保険料率（0.007%）は、令和元年度総報酬額の実績に0.007%を乗じて令和3年度総報酬額の見込み額を除いて計算する。本試算においては、計算のためのデータがないため、0.007%としている。（詳細は、「平成30年3月20日開催 第91回運営委員会資料 資料3」に掲載。）

課題③：広報理解度調査（支部ごとの認知率）

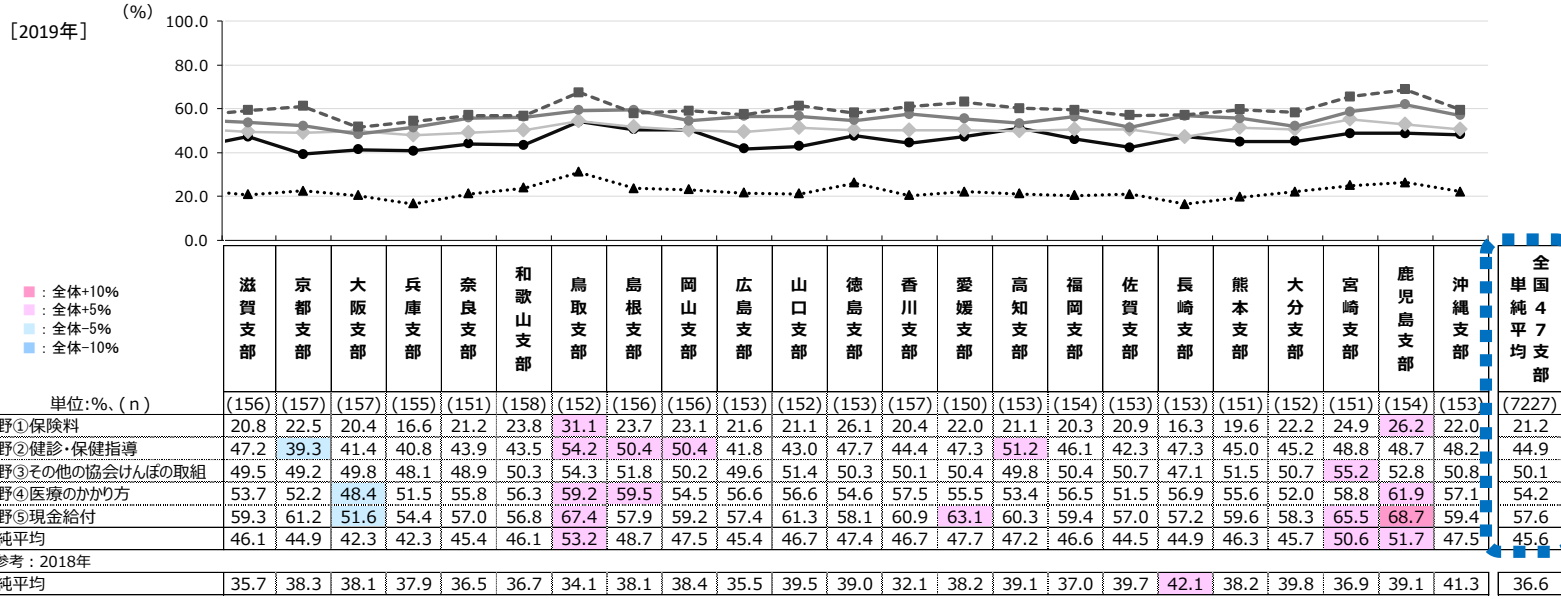
○ 事業主・加入者の皆様への更なる広報強化が必要



単位：%

分野	認知率
①保険料	19.6 (21.2)
②健診・保健指導	47.1 (44.9)
③その他の協会けんぽの取組	48.0 (50.1)
④医療のかかり方	54.1 (54.2)
⑤現金給付	57.4 (57.6)
①～⑤の平均	45.2 (45.6)

※ () 内は全支部平均



課題③：広報理解度調査（調査実施概要）

(1)調査対象者		<p>＜調査対象者＞ 協会けんぽの加入者(事業主・被保険者・被扶養者)</p> <p>＜対象者条件＞ 20歳から74歳男女。年代、性別、地域に偏りが無いよう、協会けんぽの加入者構成比に準じてサンプル設計。</p> <p>＜対象者数＞ 有効回収数 7,227サンプル（内 東京支部：160サンプル）</p>
(2)調査手法		インターネット調査
(3) 対象項目	分野①保険料	○ 保険料率等に関する認知（5項目） 計 5項目
	分野②健診・保健指導	○ 協会けんぽの健診認知（2項目） ○ 協会けんぽの費用補助の認知（1項目） ○ 協会けんぽの取組内容の認知（2項目） 計 5項目
	分野③ その他の協会けんぽの 取組等	○ その他の協会けんぽの取組認知 ・ コラボヘルス（2項目） ・ 医療費通知（2項目） ・ ジェネリック医薬品（2項目） ・ インセンティブ制度（1項目） 計 7項目
	分野④医療のかかり方	○ 医療のかかり方に関する認知（4項目） 計 4項目
	分野⑤現金給付	○ 現金給付に関する認知（6項目） 計 6項目

4. 令和3年度 支部保険者機能強化予算(案) (東京支部)

令和3年度 支部保険者機能強化予算(案)

支部保険者機能強化予算(総括表)

予算区分		分野	経費	【参考】 令和2年度 経費	
支部 保険者 機能 強化 予算	①支部医療費適正化等予算	医療費適正化対策経費	20,632千円	10,853千円	⇒令和3年度経費の 内訳は16ページへ
		広報・意見発信経費	51,655千円	66,053千円	
	合計		72,287千円	76,906千円	
	②支部保健事業予算 ※東京支部の計上分	健診経費	206,625千円	201,276千円	⇒令和3年度経費の 内訳は17ページへ
		保健指導経費	98,864千円	98,069千円	
		重症化予防事業経費	70,629千円	50,798千円	
		コラボヘルス経費	50,870千円	33,679千円	
		その他の経費	28,204千円	576千円	
	合計		455,192千円	384,398千円	

※端数整理のため、内訳と合計が整合しない場合があります。

令和3年度 支部医療費適正化等予算

① 支部医療費適正化等予算

分野	区分	事業名	経費	【参考】 令和2年度 経費
医療費 適正化 対策経費	企画部門	保険薬局及び医療機関を対象にした「自機関のジェネリック医薬品処方割合のお知らせ」の制作等業務	20,117千円	8,315千円
		ジェネリック医薬品の周知 (新規) ⇒19ページ参照		
	業務部門	保険証回収率の低い事業所に対する勧奨文書の送付	515千円	2,538千円
	小計		20,632千円	10,853千円
広報・意見 発信経費	紙媒体による 広報	任意継続被保険者資格取得申出書セット	42,053千円	32,075千円
		不備返戻等同封チラシ (新規)		
		納入告知書同封チラシの印刷等		
		支部ツウシントーキョー(東京支部の事業報告等を掲載したリーフレット)		
		子育て世代に向けた健康保険の情報提供 (新規)		
	その他の 広報	ラジオ広報番組	支部保健事業予算へ計上	24,376千円
		ラジオ連動健康情報webサイト	7,942千円	7,942千円
		各種広報媒体の制作・媒体費、ラジオCM	1,660千円	1,660千円
小計		51,655千円	66,053千円	
合計			72,287千円	76,906千円

令和3年度 支部保健事業予算

② 支部保健事業予算（主な実施事業）

分野	区分	事業名	経費	【参考】 令和2年度 経費
健診経費	集団健診	・東京都内在住被扶養者に対する集団健診 など	206,625千円	201,276千円
	事業者健診の結果データ取得	・健診機関による委任状取得の委託費 ・その他事業者健診データの提供に係る経費(勧奨、取得、データ作成等)		
	健診受診勧奨等経費	・新規適用事業所に対する健診案内 ・40歳到達者への生活習慣病予防健診受診勧奨（個人宛直送） ・新規加入被扶養者への受診券送付 ・中規模事業所加入者等への受診勧奨（新規） など		
保健指導経費	保健指導利用 勧奨経費	・特定保健指導リーフレット作成 ・特定保健指導受診に関する架電勧奨委託 など	98,864千円	98,069千円
重症化予防 事業経費	未治療者受診勧奨	・血糖、血圧異常値者に対する受診勧奨	70,629千円	50,798千円
	重症化予防対策	・糖尿病性腎症の重症化予防対策		
	その他の 重症化予防対策	・CKD疑い者に関する受診勧奨		
コラボ ヘルス経費	コラボヘルス事業	・健康づくり講座の外部委託 ・健康企業宣言取組事例集の作成（新規） ⇒20ページ参照 など	50,870千円	33,679千円
	情報提供ツール	・健康企業レポート作成		
その他の 経費	その他の 保健事業	・区市町村等と連携した健康維持に関する広報 ・医療費分析に関する調査業務委託（新規） ・ラジオ広報番組 など	28,204千円	576千円
合 計			455,192千円	384,398千円

【参考】

令和3年度 東京支部の取り組み(案) (抜粋)

【支部保険者機能強化予算関係】

ジェネリック医薬品使用率アップに向けて

■ジェネリック医薬品の周知

～ジェネリック医薬品使用率が低い地域への重点的広告活動～

「ジオターゲティング広告配信」

●ジオターゲティングとは・・・？

主にスマートフォン等から取得できる**位置情報を基に**、ユーザーのシチュエーションや属性を推測し、ターゲティングする技術です。

「リスティング広告配信」

●リスティングとは・・・？

グーグル等の検索エンジンを使用した際、**検索結果に連動**して表示される広告のことです、予め、特定のキーワードに広告を結び付けておくことで、そのキーワードを検索したユーザーの検索結果に、テキスト広告が表示されます。



データ分析から導かれた
ジェネリック医薬品使用率の低い地域に特化して広告を行う。

- ✓ ジェネリック医薬品の周知促進
- ✓ ジェネリック医薬品使用のメリットの周知
- ✓ ピンポイント配信によりコスト抑制かつ効率的な配信が可能
- ✓ 更新（掲載内容の変更）が容易に可能

健康経営促進のためのフォローアップ

■ 健康企業宣言事業所取組事例集の作成

「健康企業宣言Step1」取組項目に沿った事例をご紹介

具体的な事例の情報提供により、
健康企業宣言事業所へ取組やすい
環境を整える。
(冊子作成・配布)

好事例の吸い上げにより、
事例の増加

- 既存の宣言事業所の「健康企業宣言 Step 2」へのアップ促進
- 新規宣言事業所へのフォローアップ

事業所のヘルスリテラシー向上

- 認定事業所数の増加